

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	長寿支援課	事業No.	324
事務事業名		会計	介護保険特別会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H25	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画	
法令・例規等			飯田市成年後見制度支援事業要綱		
事業目的	対象	成年後見制度の利用を必要とする人			
	意図	相談・支援を行い成年後見制度の適用につなげる			

2 事業内容

3年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・認知症などにより判断力が衰えた高齢者の権利擁護を図るため、親族がいない等の必要なケースについて、成年後見制度等の利用を案内し、成年後見支援センターを紹介しました。 ・成年後見支援センターと連携して相談業務にあたりました。 ・成年後見開始の審判の申し立てを行う者が居ないケースについて、市長申し立てを行いました。		後見人報酬				0				
			市長申立て費用				4				
					その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度 計画	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和6年度 計画	令和6年度 実績	
	市長申し立て件数	件	3	2							
3年度 決算 (千円)	予算額	624	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	4	(国) 地域支援事業交付金 (38.5%)								
	財源の 状況	国庫支出金	1	(県) 地域支援事業交付金 (19.25%)							
		県支出金	1	(そ) 一般会計繰入金 (19.25%)							
		地方債	0								
		その他	1								
一般財源		1									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	5	5	3	2	30	1	624	4	成年後見制度利用支援事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		・親族のいない在宅の方等について、身体状況の急変等により急遽、制度活用が必要となる場合があります。個々のケースについて日頃から関係機関等と情報共有し、成年後見制度の周知を図り、事業の円滑な利用促進を進める必要があります。								
上記の課題解決のための有効策		・金銭管理や身上監護が必要なケースについて、積極的に制度活用を図るため、関係機関と情報共有に努める必要があります。								
次年度に向けての取り組み		・継続的に、関係する機関等と個々のケースの情報共有を進めるとともに、制度の周知を図るため広報やウェブサイトを活用し啓発活動を行います。								